



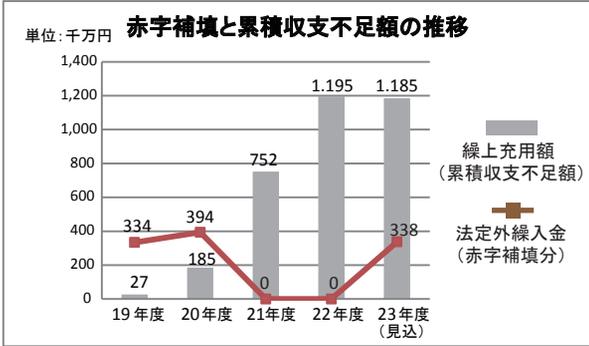
# 市民ネットワーク 議会速報

2012年  
千葉市議会第2回定例会  
6月7日～26日



市議会議員  
湯浅美和子 山田京子

## 国民健康保険 赤字がちょっと改善でも



(注) 線上充用(くりあげじゅうよう)は会計年度経過後、歳入が不足するとき翌年度の歳入を繰り上げてこれに充てること。

一般会計からバランスをみながらの繰り入れも必要です。同時に健康保険全体の構造を変える国レベルでの抜本改革が不可欠です。

118億5千万円の線上充用(注)は問題ではあるものの、国保事業は23年度の決算見込み額が約11億円改善。前期高齢者交付金の増額も要因ですが、市税等納付推進センターからの電話催告で未納初期の対応を強化した成果もありました。

多額の累積収支不足はなんとと言っても21、22年度に一般会計からの赤字補填が出来なかったことが要因です。

今後もアクションプランに沿ってコツコツと黒字を積み上げていくしかありませんが、

昨年からの議長の交代時期を2年ごととしたため、スッタモングの議長選挙がなくなり、スムーズな議会開始となりました。市長提出議案としては、5度目の国民健康保険線上充用(注)、衛生センター修繕不祥事に伴う和解、暴力団排除条例の制定、真砂の高等特別支援学校設置のための条例改正など、計16が審査され、いずれも採択されました(市民ネットワークは全議案に賛成)。

## 6月議会 大揺れなく全議案を採択

### 出先機関の不祥事に 唖然

し尿処理を行っている衛生センターの設備機器修繕を、競争入札にすべきところ、職員2人がプラント設備工事と共に随意契約で一括発注してしまったことが発覚。契約は無効となりましたが工事は終了しているため、相手会社に修繕の出来高を支払い、和解すること。

途中のチェック体制がなかったこともわかり、市からは現地確認を行う自主点検の強化などの再発防止策が示されました。職員には公金を使って仕事をしているという自覚をしつかり持つてもらいたいものです。

6月議会は、会派を代表する質疑質問はなく、議員各人が課題と感じる事柄について質問を行う。これが一般質問で、その時の時流を表しているといえる。

今議会は議員54名中31名が一般質問を行った。人数としてはこれまでの最多で、複数の議員が取り上げ、気になったモノは以下。

**まず、生活保護。**最近のお笑い芸人の扶養問題から、生活保護不正受



### 議会

給と結び付けて報道されることもあつてか、5名の議員が取り上げた。受給者が増加している現状から、保護要件の再確認を求めるとのや、就労支援の見直し、学習支援対策、また真に保護が必要な方への排除に繋がらないか、など。

市民ネットとしては、保護が必要でありながら受給できないことは、不正受給より問題は深刻であり、申請をきちんと受け止めているか、などこれまでも質してきた。

次に、市長発言もしばしば報道されているIR(カジノ)を含めた統合型リゾート)について、3人。積極的誘致を求めるものだが、答弁は「行政主導でなく、まずは地元経済界・市民の機運の盛り上がりが必要。法制化の動きも注視しつつ調査・研究する」

青少年への影響や治安問題だけでなく、IRの前提にはカジノだけではない観光地としての要素が必要で、それだけの集客能力があるかは疑問に感じる。

最後に、ごみ有料化に関して3人。市民負担や情報提供の問題点などについて。市は今後、廃棄物減量等推進審議会に、有料制の制度設計のあり方を諮問し、答申を待つて議会へ条例提案することになる。

市民ネットでは市民へのアンケートを実施しており、その結果ももとに有料制の是非について判断していく。

若葉区の市民から、「隣地が都市計画道路予定地と聞いているが、空き地にしておくのはもったいないのでは？」という問い合わせがあり、市内にはほかにも活用すべき用地があるのでないかという疑問がわきました。現時点で当面整備予定のない道路用地を尋ねると、約5万4千㎡あるとのこと、QVCマリオンフィールド3・6個分に相当します。これを活用しない手はありません。

借りるための許可基準は「ま

ちづくりや賑わい創出となり、公共的公益的な利用で管理上支障にならないこと」かつ「的確に管理できる団体が対象」とのことでした。いま駐車場にして

いる用地では、年額1050円／㎡、広場は全額免除です。

性的少数者（セクシュアルマイノリティ）とは同性愛・両性愛・性同一性障害・性分化疾患など、「性」のあり方が多数派でない人のことで、家族や周囲の無理解、人権侵害、就職・結婚の壁、自殺願望など、当事者は生きづらさを抱えています。

一昨年の質問で、性的少数者の理解と支援のため、市にも担当の所管、相談窓口や研修の必要性があると訴えました。今回の質問で今年度から男女共同参画課が、「性的少数者に関することを人権問題の一つ」とらえ、課題の整理に取り組み」ことを確認しました。

また、男女共同参画センターでのハーモニイ相談の例示に、「このところからだの性に違和感がある」を追加し、相談も受け入れる

### 山田京子

## 計画の進まない道路用地もって活用を！

## ようやくスタート 性的少数者に関する市の取り組み

用地は何もせずとも管理費がかかるわけですから、地域の活性化に役立ちそうなところは、少なくとも市政だよりに掲載するなど、もっと積極的に広報し活用すべきと主張しました。

また、昭和40年代前半ころから計画が始まった都市計画道路は、社会の変化にともない未整備区間の見直しが行われています。その進捗を尋ねると、「平成20年の交通実態調査の結果を使つての検証で、未着手路線全体延長の約2割が廃止対象となる。具体的な路線については調整中で、年内には市民へまとめを示して意見を伺う」との答弁でした。

時代の変化に対応した道路のあり方を、市民と共に見直していく時期にきています。

- ・ 今年度担当する委員会等
- ・ 教育未来委員会
- ・ 市議会広報委員会
- ・ 姉妹友好都市議員連盟会計幹事
- ・ 会派会計

と聞きましたが、女性専用相談であることがネックです。今後の相談・広報体制の拡充を求めました。

また、教員向け研修項目にはこれまでありませんでしたが、今後「管理職や人権教育担当者の研修に性的少数者への理解を加えることを検討する」との答弁があり、少し前進です。

すべての教員職員及び市民の理解が深まることで、当事者の人権が尊重され、あたりまえの幸せを手に入れることのできる社会になってほしいものです。



## 一般質問から

### 空き家の状況は？

総務省の2008年統計調査によると、千葉市内の住宅総数42万9100戸のうち、空き家は5万4200戸（空き家率12.6%）。また千葉県は都市部の空き家実態把握のため、本年2月、市川・柏・千葉を対象に、利用形態、空き家継続期間、空き家化の原因、今後5年間の活用意向などの調査をしました。

## 空き家の有効活用を考えよう！



### 市内空き家対策は？

これまでほとんど対策はなかったと言えます。ただ一つ、移住・住み替え支援機構の「マイホーム借り上げ制度」があり市HPに掲載されていますが、現在市内の登録物件はありません。本腰を入れた周知もないので当然の結果でしょう。

### これからの有効活用に向けて

空き家活用は「住まい」だけではなくありません。今年度改定される「住生活基本計画」では、子育て世帯への活用などとともに、住宅以外の用途も位置づけています。

地域活動拠点としての活用を、市民活動支援として行っている自治体もあります。市全体に、空き家を有効に活用する機運を盛り上げつつ、まずは空き家の実態を把握し、所有者の意向確認をすることが必要です。

### 湯浅美和子

- ・ 今年度担当する委員会等
- ・ 総務委員会
- ・ 議会のあり方検討協議会
- ・ 少年自然の家事業運営協議会
- ・ 会派幹事長

## 放射能対策はこれからも重要

低線量であっても長期にわたる被ばくの影響は定かではないため、子ども達の健康診断を行うことや、市民が心配に感じる食品の検査を市民サービスとして行うことなどを求めましたが、いずれも一定の安全性は保たれており必要なし、との答弁。

震災がれきの広域処理については状況を慎重に見極める

べき、また文科省が配布している放射能に関する副読本は、福島原発事故に触れておらず問題、と指摘しました。事故はまだ収束していない、決して対策を緩めてはならない、との思いで取り上げた質問ですが、今議会で放射能対策を取りあげた議員は他にいません。千葉市も議会も、喉元過ぎれば、ということにならないよう、これからも引き続きの対策を求めていきます。